

環境放射線等測定結果報告書

R F S 発 8 第 15 号

令 和 8 年 5 月 2 9 日

む つ 市 総 務 部
防 災 安 全 課 長
新 田 剛 殿

リサイクル燃料貯蔵株式会社
技 術 安 全 部 長
篠 田 和 之

リサイクル燃料備蓄センター周辺地域の安全確保及び環境保全に関する協定書第11条第1項の規定により令和7年度第4四半期の環境放射線等測定結果について別紙のとおり報告します。

(1) 空間放射線量率測定結果

測定地点	測定月	平均	最大	最小	標準偏差	平常の変動幅	過去の測定値の範囲	過去の同一四半期の測定値の範囲	平常の変動幅を外れた時間数	平常の変動幅を外れた原因と時間数		備考
										施設起因	降雨等	
単位:nGy/h									単位:時間			
美付	1月	20	67	11	8.1	7~31 (19±12)	9~71	9~71 (17)	58	0	58	
	2月	13	37	9	4.0				2	0	2	
	3月	20	36	17	2.1				2	0	2	
	第4四半期	18	67	9	6.2				62	0	62	

- ・ 測定値は1時間値。
- ・ 測定時間数は3か月間で約2,200時間。
- ・ 測定値は3MeVを超える高エネルギー成分を含まない。
- ・ 「平常の変動幅」は、令和2~6年度の測定値の「平均値±(標準偏差の3倍)」。
- ・ 「過去の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値の「最小値~最大値」。
- ・ 「過去の同一四半期の測定値の範囲」は、令和2~6年度の測定値のうち同一四半期の測定値の「最小値~最大値」。また、括弧内の数値は平均値。
- ・ 「施設起因」は、監視対象施設であるリサイクル燃料備蓄センターに起因するもの。
- ・ 「降雨等」に分類する要因としては、「降雨、降雪、雷雨、積雪等の気象要因及び地理・地形上の要因等の自然条件の変化」、「医療・産業に用いる放射性同位元素等の影響」、「国内外の他の原子力施設からの影響」などが挙げられる。
- ・ 「施設起因」と「降雨等」の影響が同時に認められた場合は、その主たる原因に分類している。

(2) 環境試料中の放射能測定結果

試料名	採取地点	採取年月日	単位	γ線放出核種									備考	
				⁵⁴ Mn	⁵⁹ Fe	⁵⁸ Co	⁶⁰ Co	¹³⁴ Cs	¹³⁷ Cs	⁷ Be	⁴⁰ K	²¹⁴ Bi		²²⁸ Ac

- 測定値は、試料採取日時点の放射能濃度に補正した値。

(3) 気象観測結果

①降水量・積雪深

測定地点	測定月	降水量 (mm)	積雪深 (cm)				
			平均	最大	最小	過去の値	
						平均	最大
美付	1月	123.0	22	58	1	21	76
	2月	80.0	36	79	4	27	61
	3月	72.5	0	5	0	5	40
	第4四半期	275.5	19	79	0	18	76

- 測定値は「地上気象観測指針」（気象庁）に基づく1時間値。
- 積雪深における「過去の値」は、前年度までの5年間（令和2～6年度）の同一時期の平均値及び最大値。